

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/7/3(月)

1 コリント1:18-31

人間の力や知恵を誇り、仲間割れを起こしていたコリントの教会に、パウロは何を思い起こさせようとしているのだろうか。

自分が召されたのは、何か優れたところがあつたからだろうか？君の中には、何か誇りとしていることがあるだろうか。神様は、それらがあるからではなく、今も無条件に君を愛していることを思い出そう。その愛を他の人にも表せるように祈ろう！

2023/7/4(火)

1 コリント2章

聖書を読む前に、聖霊様が理解する力を与え、教えてくださるよう祈ってみよう！

4節を読もう。パウロは何によって宣教を行ったと言っているかな？書き出してみよう！

人が神様のことばを理解したり、受け入れられたりすることは御霊（聖霊）によることなんだ。だとすれば、私たちがイエス様のことを伝える時には、誰にどう頼るべきだろうか？

2023/7/5(水)

1 コリント3:1-9

神様は、私たちの霊的成長のために必要な人やものをすべて備えてくださる。私たちの成長はすべてこの神様にかかっていると言える。

コリントでの宣教の初期、パウロはコリントの人々に「肉に属する人々」「キリストにある幼子」に対するように語った。これは、古い考え方や習慣を引きずっている人たちのことだと思われる。赤ちゃんに硬い食物を与えられないように、霊的な意味での硬い食物を教えることはまだ無理だとパウロは評価している。なぜなら彼らに「ねたみや争い」、分裂などが見られたからである。奉仕者は神に使えるものであり、互いに対立していないとパウロは語っている。彼らはコリントの教会の必要のために仕えたが、彼らの主人は神様お一人であった。祈り：肉の思いではなく、御霊によって歩むものへと成長させてください。

2023/7/6(木)

1 コリント3:10-23

11vを読もう！
★土台はキリストになっているだろうか？

16.17vを読もう！
★キリストを軽んじていないだろうか？

21vを読もう！
★私たちは神にのみ従う神のしもべである。誇るべきは人ではなく、神のみである。

選び続けるのが難しいときも、出来ない時もある。でもそこに甘んじることなく、必要なら悔い改め、新たにキリスト者として生きよう！！

2023/7/7(金)

1 コリント4:1-13

3-5vを読もう！
●自分で自分をさばくとは、自分をどう思うことだと思ふ？君自身は自分のことをどう思っているだろうか？3v

●さばくのは誰で、神様は人に与えるものは何だと書いている？4-5v それは、きみの神様のイメージと同じかな？

●君はどんなときに、人からの評価がすぐく気になったり、自分の価値が分からなくなったりする？イエス様はいつも、きみの味方だ。

2023/7/8(土)

1 コリント4:14-21

リーダーであるパウロは、自分に倣うものであるようにと人々にすすめているね。

実際に私たちにもセルや教会のリーダーがいる。その人たちの存在をよき模範として感謝していこう！そして、そのリーダーたちのために祈っていこう！

コリントの手紙は、その教会のことについても厳しく書いてあるけど、パウロはそれを恥ずかしい思いをさせるためではないこと、愛しているからこそその手紙だと言っているね。

私たちも、SVやリーダーに何かを教えてもらった時に、素直にそれを受け取って、祈ろう！

2023/7/9(日)

1 コリント5章

小さな罪の「古いパン種」は、1人の人においても、教会においても大きな影響を与えることが書かれている。

私たちのうちにある、「古いパン種」とはなんだろうか？

ちょっとぐらい残ってても良い、ではなく、「古いパン種をすっかり取り除きなさい」とパウロは言った。

私たちのうちから取り除くべきもの、悔い改めるべきことはなんだろうか。

静まって、神様に聞いてみよう。思わされたことを神様に告白し、祈ろう。